



佐藤 高清 議員 政新会

問 駅・市役所周辺の整備は 答 利便性の高い交通結節点を強化



▲コミュニティバス



▲八穂地区

都市計画マスター・プランを実行していく上で以下を問う。

問 駅・市役所周辺の整備についてどのような思いか。

答 (市長) 市民が安心して利用できるよう歩行者・自転車が通行しやすい環境の整備を行い、コンパクトな都市づくりの形成を図る。

問 コミュニティバス交通網の整備についてどのように思いか。

答 利便性向上は重点施策。役割を明確にし、使いやすい地域公共交通網の形成を図る。

問 デマンド運行は導入しないのか。

答 現在のコミュニティバスの運行方法を抜本的に見直すことになる。

問 湾岸エリアの開発と発展について構想や思いは。

答 南部地区については産業拠点機能の強化を図る。

問 八穂地区については市街化編入の手法により、民間事業者とともに国・県と相談しながら、工業系土地利用を自ら指す。

答 末広地区は、産業の振興や雇用の場の創出に資する工業系の土地利用を進めること。

問 重要項目達成に向けた決意は

答 土地利用を図り賑わいを生み出す

問 2028年の人口4万3千人とする算出の根拠は。

答 平成28年2月策定の弥富市人口ビジョンを根拠としている。

問 重要項目達成に向けた市長の考えは。

答 コンパクトなまちづくりとして立地適正化計画を策定。

問 市内を走る産業道路について今後の展望は。

答 (市長) 湾岸エリアの発展には着実な整備は必要不可欠。今後も関係機関に積極的に要望し、利便性の向上と安全な道づくりに努める。

問 車新田の土地区画整理事業の推進や駅周辺のまちづくりを検討。

答 JR・名鉄弥富駅自由通路・橋上駅舎化事業及び弥富駅北口駅前広場等整備事業を推進。